

「共に生きる」 何を大事にしてほしいのか

去る22日(土)、78%の保護者の参加をいただき、参観授業・PTA総会・教育懇談会(全体・学年)を実施しました。保護者の皆様にはたまのお休みのところご出席いただきありがとうございました。

教育懇談会全体会では、次のようなお願いと報告をしました。

1 スクールプランについて

○学校教育目標「共に生きる」

・何よりも自他の「命の順序(親より先に逝かない)」を最優先してほしい。そのために心身の健康に心がけ、互いの心を開き認め合い励まし合える仲間を作ってほしい。(あいさつ・感謝謝罪)

○NIE実践指定校、ふるさとの魅力発信推進事業(CMコン)

2 報告事項について

(1)トイレの完全洋式化完了

・一昨年度要望↓昨年度会長副会長尽力↓9月議会予算化↓工事・完成

(2)クラス替え

・人間関係の調整が苦手な子どもの増加。不適応の要因にも。R4年度から一年ごとにクラス替え実施。ただ、全員が100%満足できる方法はない。みんなが少しずつ我慢しながら新たな環境で折り合いをつけていくことを学ぶ。

(3)ジェンダーレス制服への移行検討

・SDGsを原動力とした町作りを進めている若狭町。本校では総合的な学習の時間や道徳、人権教育の中で種々のSDGs目標を意識。中でも目標5「ジェンダー平等の実現」



PTA総会・全体会



検討委員会にて生地の基調色を検討。圧倒的多数で「紺色」に。更に「紺色」を基調としたスクールカラーの「緑」があしらわれた上着とボトムスの組み合わせ数十種類の中から2タイプを選定。今後生徒・保護者の意見を参考に上着とボトムスのタイプを決定。並行して生徒による「エンブレムコンテスト」を経たエンブレムの決定や、初タイポンの色や形状の検討等。

(4) 休日の部活動

スポーツ庁から「R5～7年で休日部活動を地域に移行」との指導がR4年度に。本校ではR4年度から、新人戦終了年度末の休日部活動は隔週実施に。部活動数は現在のものを当面は維持していく。

・少子化対応(選択肢の多様性確保)のため
・教員の働き方改革のため

(5) 中高一貫教育の継続・強化

については男女混合名簿・整列順・スクールライフ制服申し合わせ事項から男女別表記削除などに取り組んでいる。夏服についてはR4からジェンダーレスに。

① R4年11月アンケート実施(小4～中3保護者対象)保護者の多くが「遅いくらい」「歓迎」「当然の流れ」と。ただ「経済性」「当事者への配慮」が課題に。

② 検討委員会(1月)「経済性への配慮(現行と遜色ない値段設定や長期移行期間の設定)」「当事者への配慮」「生徒参加型の検討」「日進月歩の生地活用」について協議確認

③ 検討委員会(2月) パートナー企業選考(プレゼン・視察)

④ 検討委員会(3、4月) 冬服モデルの選定(数十種類の組み合わせの中から2種類に絞る)

